

エコアクション21 認証・登録番号 : 0002196

環 境 経 営 レ ポ ー ト

2024年度版

2024年1月～2024年12月

発行日 2025年1月29日

日 興 紙 業 商 事 株 式 会 社

代表取締役社長 渡辺いつ子

2024年度

日興紙業商事株式会社

環境経営レポート 目次

- 1 環境方針-基本理念-方針
- 2 事業概要
- 3 環境経営目標とその実績
- 4 環境経営目標中長期と評価
- 5 環境経営目標達成状況-環境活動計画
- 6 環境経営目標達成状況-環境活動の取組み結果の評価
- 7 環境管理法規等の取りまとめ**(1)**
- 8 環境管理法規等の取りまとめ**(2)**
- 9 改正フロン排出抑制法対応チェックシート
- 10 処理工程図
- 11 代表者による全体評価と見直し結果エコアクション21

《 環境経営方針 》

1. 基本環境経営理念

当社は、社会の一員として地球環境との共生・調和、そして地球環境保全への取り組みを重要課題と認識し、自ら責任を持ち、全社員一丸となって環境に配慮した事業活動に取り組みます。「環境目的・目標」を定期的に見直し、周知、公表するとともに、環境負荷を継続的に削減して、循環型社会の構築に貢献して行きます。環境経営の継続的改善を実行します。

2. 環境経営活動の「目的と目標」

- 1 当社は環境保全に関する法令等を遵守し、環境負荷の低減・環境汚染の予防に努めます。
- 2 当社は大気汚染防止ならびに地球温暖化防止が最重要課題であるとの認識に立ちエコドライブの実践に積極的に取り組みます。
- 3 当社は、企業活動のすべての領域で省資源・省エネルギー・節水・リサイクル活動を推進し、環境保全に努めます。
- 4 この環境方針は全社員に周知徹底し啓発活動を積極的に行います。
- 5 地域環境との共生・調和をはかり、明るくクリーンな地域社会の発展を目指します。
- 6 人的・環境的負荷の軽減のために効率的な構内導線のレイアウトを構築し作業時間の短縮を図ります。
- 7 古紙の選別精度の向上・合理化及び資源物の再生化と廃棄物の軽減に努めます。
- 8 車輛・機械・設備の点検整備に重点を置き、故障の未然防止をはかるとともに、節電、作業効率の向上を強化します。
- 9 自然災害・火災などの緊急時対応を策定し、BCP(事業継続計画)に取り組みます。

制定 2008 年 2 月 18 日

改訂 2022 年 1 月 14 日(第3版) 2-9追加

改訂 2024 年 1 月 19 日(第4版) 2-6変更

令和7年1月24日

東京都東村山市廻田町1-2-1

TEL 042-393-1024

日興紙業商事株式会社

代表取締役

渡辺いづ子

事業活動の概要

1. 会社名、代表者

日興紙業商事株式会社
代表取締役

渡辺 いつ子

2. 所在地

東京都東村山市廻田町1-2-1

3. 環境管理責任者及び連絡先

環境政策推進統括:	代表取締役社長	渡辺 いつ子
環境管理責任者:	環境管理部長	若林 茂治
連絡担当者:	エコアクション21事務局	福田 計盛
連絡電話番号	(電話代表)042-393-1024	

4. 創業 昭和18年4月20日

設立年月日 昭和47年2月28日

5. 資本金

1000万円

6. 事業概要

再生資源物の回収と加工及び産業廃棄物の収集・運搬、保管積替、処分
(中間処理)

7. 事業規模

項 目	単位	2019	2020	2021	2022	2023	2024
		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
古紙等資源物回収・処理量	t	11178	13399	11242	11251	10885	10158
産廃収集運搬量	t	0	0.53	0	0	0.21	0
産廃中間処理量	t	0.87	1.55	1.04	0	0.21	0
売上高	百万円	195	178	197	236	221	226
従業員	人	11	10	10	10	10	10
床面積	m ²	2700	2700	2700	2700	2700	2700

ア 運搬車両の種類・台数:7台

2tパッカー車4台 3tパッカー車1台 2tダンプ1台 4t平ボデー1台

イ 作業車両・台数:6台

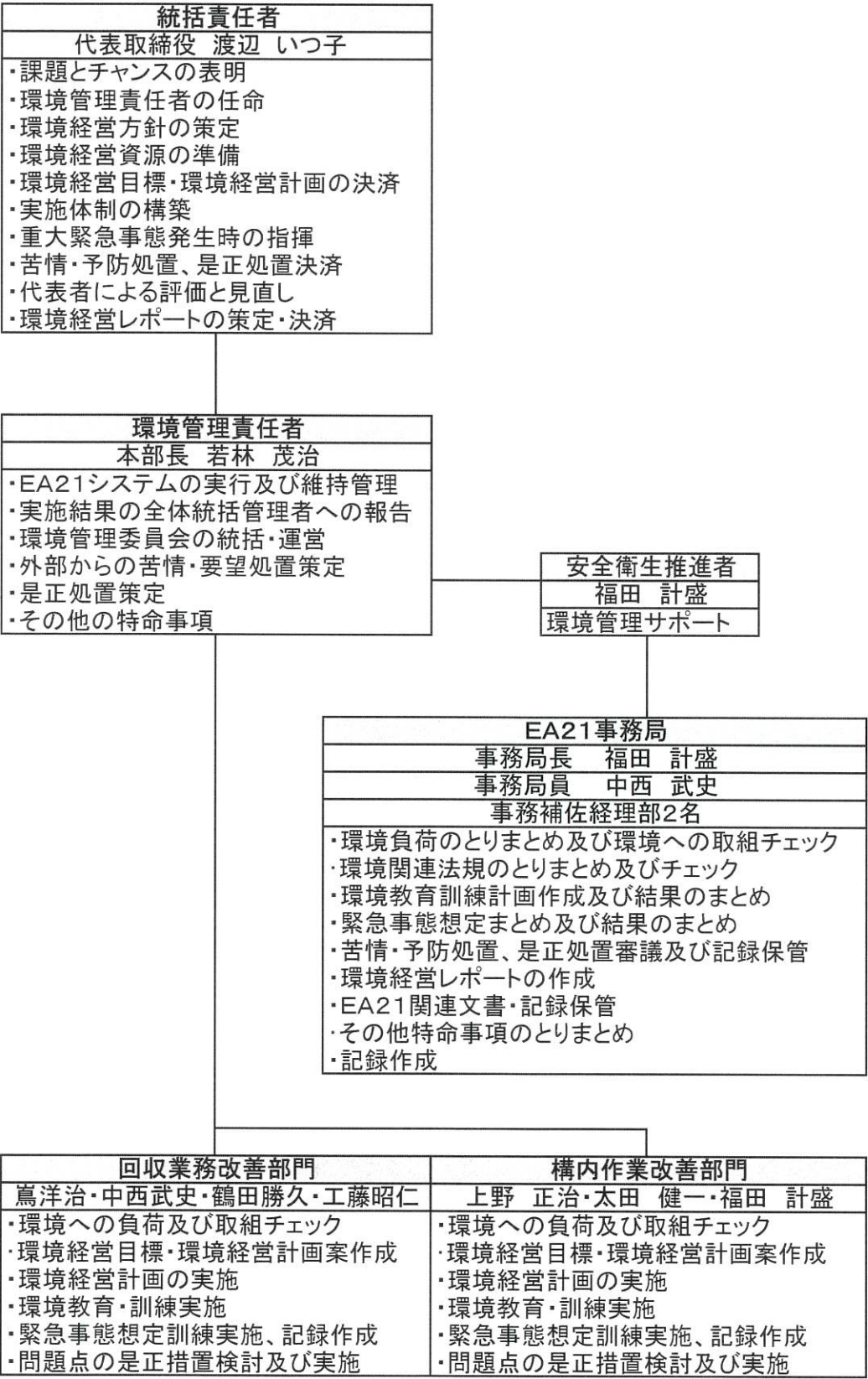
6tグローブ1台 3tフォークリフト1台 2.5tフォークリフト1台 3tグローブ1台
大型ショベル1台 ユンボ1台

ウ 営業車 :普通乗用車1台

主要設備: ベーラー・プレス機 1台
 缶プレス機 1台

8. 組織図

実施体制 <環境管理組織図>



9. 許可・登録の内容

東京都産業廃棄物収集運搬業

許可番号 第13-10-039805号

許可の年月日 令和3年7月26日 (更新第6回)

許可の有効年月日 令和8年7月25日

東京都産業廃棄物中間処理業(圧縮・梱包)

許可番号 第13-20-039805号

許可の年月日 令和5年10月9日 (更新第2回)

許可の有効年月日 令和10年10月8日

事業の範囲

(1) 収集運搬(保管・積替えを含む)

(2) 取扱う産業廃棄物の種類

廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、ガラス、コンクリート、陶磁器くず

(3) 保管・積替えできる産業廃棄物の種類

ガラス、コンクリート、陶磁器くず

(4) 中間処理(圧縮・梱包)できる産業廃棄物の種類

廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず

10. 中間処理の許可品目の種類と処理能力

平成28年8月31日 処理施設更新に伴う処理能力の変更

施設種類	産業廃棄物種類	単独処理能力
圧縮 梱包	廃プラスチック	186.4(t/日)
	紙くず	169.6(t/日)
	木くず	123.2(t/日)
	金属くず	274.4(t/日)

11. 保管・積替え施設

住所: 東京都東村山市廻田町1-2-1

保管・積替え面積2,228.22㎡ 最大保管高さ : 1.9m 上限保管量計8.86立米

12. 廃棄物集収運搬処理料金

廃棄物等の料金は、お客様(排出事業者)とのご契約時にお見積り書をご提出し、協議の上決めさせて頂いております。

廃プラスチック・ kg/160円 木くず・ kg/160円

なお 廃棄物の品目、性状、排出場所、排出量、荷姿等をご連絡頂ければお見積りをさせて頂きます。

環境経営目標と実績2024年

※中長期的な見直しにより、基準年を2023年とし目標値を変更する

年度末集計後アップ

項 目	2023年度(基準年)	環境経営目標	目標値対比(%) 本年度取組み結果(実績)	評 価	原因
軽油	15269.3 ℓ	2023年度比1%減	100 %	0 %	未達成
		15117 ℓ	15143.47 ℓ		
電力	82512 KWh	2023年度比1%減	98 %	2 %	達成
		81687 KWh	80395 KWh		
CO2削減	77762.87 kg-CO2	2023年度比1%減	100 %	0 %	未達成
		76985 kg-CO2	77498.11 kg-CO2		
水	270 m³	2023年度比1%減	99 %	1 %	達成
		267 m³	266 m³		
資源リサイクル化率 (産廃物含む) ※比率が高い程良好	99.96%	紙の減少の為下方修正	100 %	2 %	達成
		98 %	10838 t		

※軽油は、今年度回収ルート拡大を予定しているため、使用量は増えると予想されるので、CO2削減目標は燃費向上を目指す。

kg-CO2排出量合計 比較	日本テクノ(株)排出係数 (kg-CO2/kWh)	CO2削減量 (前年比削減ポイント)	増減結果
2023 年度	77762	0.465 (令和4年度実績)	0.00
2024 年度	77498	0.465 (令和6年度実績)	

注) ①「環境への負荷の自己チェック」の<3-①温室効果ガス>二酸化炭素排出量合計より転記
②排出係数は環境省公表数値(最新) <https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc>
③排出係数は少数よど良好 https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/h31_coefficient.pdf

2024～2026の中長期目標 2024版

中長期目標

※中長期的な見直しにより、基準年を2023年とし目標値を変更する ※100%以下＝削減達成 100%以上＝未達成

大項目	項目	2023年度(基準年)	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)
CO2削減	軽油 使用量の 削減	軽油	2023年度比1%減	2023年度比1%減	2023年度比1%減
		CO2排出量	目標 39,000.84 kg-CO2	目標 39,000.84 kg-CO2	目標 39,000.84 kg-CO2
		実績 39,394.79 kg-CO2	実績 39,070.15 kg-CO2	実績 kg-CO2	実績 kg-CO2
			結果(目標比) 100 %	結果(目標比) %	結果(目標比) %
	電力 使用量の 削減	電力(日本テクノ(株))	2023年度比1%減	2023年度比1%減	2023年度比1%減
			目標 37,984.40 kg-CO2	目標 37,984.40 kg-CO2	目標 37,984.40 kg-CO2
		実績 38,368.08 kg-CO2	実績 37,383.68 kg-CO2	実績 kg-CO2	実績 kg-CO2
			結果(目標比) 98 %	結果(目標比) %	結果(目標比) %
	CO2削減	CO2	2023年度比1%減	2023年度比1%減	2023年度比1%減
			目標 76,985.24 kg-CO2	目標 76,985.24 kg-CO2	目標 76,985.24 kg-CO2
		実績 77,762.87 kg-CO2	実績 77,498.11 kg-CO2	実績 kg-CO2	実績 kg-CO2
			結果(目標比) 100 %	結果(目標比) %	結果(目標比) %
節水	水使用量 の削減		2023年度比1%減	2023年度比1%減	2023年度比1%減
			目標 267 m ³	目標 267 m ³	目標 267 m ³
		実績 270 m ³	実績 266 m ³	実績 m ³	実績 m ³
			結果(目標比) 99 %	結果(目標比) %	結果(目標比) %
再資源化	目標(基準)		紙減少の為下方修正	紙減少の為下方修正	紙減少の為下方修正
		2023年度(基準年)	2023年度(基準年)	2023年度(基準年)	2023年度(基準年)
		目標 98.00 %以上	目標 98.00 %以上	目標 98.00 %以上	目標 98.00 %以上
	実績	各年度毎の実績	実績	実績	実績
		①全資源処理 10885 t	①全資源処理 10838 t	①全資源処理 t	①全資源処理 t
		②産廃再資源 0.00 t	②産廃再資源 0.00 t	②産廃再資源	②産廃再資源 t
		③資源化合計 10885 t	③資源化合計 10838 t	③資源化合計 t	③資源化合計 t
		④全産廃数量 0.73 t	④全産廃数量 0.00 t	④全産廃数量 t	④全産廃数量 t
		実績 100.00 %	実績 100.00 %	実績 %	実績 %

* PRTR法に該当する化学物質は使用していません。

* 電力使用量＝電力会社(日本テクノ(株))のオンデマンド集計

* 再資源化率＝

③資源化合計(上記資源発生物:①+②)

全回収量(＝①紙等の資源処理+④:産廃自社排出+受託)

主要な環境経営計画の内容

※データ記録は必須活動

環境経営目標			目標値		2023年度(基準年)実績対											
CO2の削減 (1)ガソリン・軽油の使用量削減			ガソリン100ℓ未満		軽油1%減											
No.	環境経営目標達成の為に具体的施策	担当	項目	計画及び進捗状況												
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
1	エコドライブ指導・実践 車両整備の徹底	若林	計画	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
			取組状況	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	各車両ごとに燃費の把握 運行管理表を継続して実施	福田	計画	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
			取組状況	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	重機のコマメな清掃・点検 (エアクリーナー・ラジエーター)	若林／太田	計画	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
			取組状況	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	重機ごとに稼働時間を把握 使用時間管理表を継続して実施	福田	計画	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
			取組状況	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

環境経営目標			目標値	2023年度(基準年)実績対												
CO2の削減 (2)電力使用量の削減			1%減													
No.	環境経営目標達成の為の具体的施策	担当	項目	計画及び進捗状況												
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
1	空調機の適温化	事務	計画 取組状況	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	
2	空調機の清掃(3か月簡易点検	若林	計画 取組状況	→ ---	→ ---	→ ○	→ ---	→ ---	→ ○	→ ---	→ ---	→ ○	→ ---	→ ---	→ ○	
3	作業時間分散スケジュールの 作成、実行	若林	計画 取組状況	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	
4	ペーラーの3か月点検・清掃に よる機械設備の熱量削減	若林／福田	計画 取組状況	→ ○	→ ---	→ ---	→ ○	→ ---	→ ---	→ ○	→ ---	→ ---	→ ○	→ ---	→ ---	
5	ペーラーの空運転をなくす実 践・チェック	若林／上野	計画 取組状況	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	
6	”スマートメータ”デマンド値 オーバーのアナウンス	事務	計画 取組状況	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	
7	缶プレス機の4か月点検・清掃 による機械設備の熱量削減	若林／鳶／福田	計画 取組状況	→ ---	→ ---	→ ○	→ ---	→ ---	→ ○	→ ---	→ ---	→ ○	→ ---	→ ○	→ ---	

○:よく活動した △:できた時とできない時があった ×:実施せず

主要な環境経営計画の内容

環境経営目標			目標値	2023年度(基準年)実績対											
節水 水使用量の削減			3%減												
No.	環境経営目標達成の為に具体的施策	担当	項目	計画及び進捗状況											
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1	散水時の節水	全従業員	計画 取組状況	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○
2	洗車時の節水 ①少量水をこまめに使用 ②雨天前の洗車はしない	全従業員	計画 取組状況	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○
3	節水方法及び実践の重要性を従業員に周知	福田／太田	計画 取組状況	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○

環境経営目標			目標値	2023年度(基準年)実績対											
再資源化			98.00%維持												
No.	環境経営目標達成の為に具体的施策	担当	項目	計画及び進捗状況											
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1	手選別に仕分けの強化	全従業員	計画 取組状況	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○
2	分別を徹底し排出方法を厳守する。	全従業員	計画 取組状況	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○
3	紙くず類・廃プラ排出者への分別方法啓蒙活動	若林	計画 取組状況	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○

○:よく活動した △:できた時とできない時があった ×:実施せず

四半期ごとの確認・評価			大体よくできたと思う。
3月	○	よく活動した。	
6月	○	よく活動した。	
9月	○	よく活動した。	
12月	○	よく活動した。	

2024年 環境経営の取組み結果と評価・次年度の取組み内容

日興紙業商事株式会社
2024.1.1-2024.12.31

取組項目		前年比 取組結果(達成状況)				次年度の取組内容
1	軽油の使用量(ℓ)		2023年	2024年	前年比実績	＜その他の改善策＞ 古紙類の回収時は、パッカー巻込み作業時間短縮の工夫をする。
		軽油	15269	15143	0% 向上	
2	軽油の CO2排出量(kg-Co2) (環境への負荷自己チェック-3①)		2023年	2024年	前年比実績	市民への後出し禁止の呼びかけ、再度の回収防止に協力求め活動。
		軽油	39394	39070	0% 向上	
		＜評価＞				
3	軽油の		2023年	2024年	前年比実績	＜その他の改善策＞ 古紙類の回収時は、パッカー巻込み作業時間短縮の工夫をする。 エコドライブに努める。 市民への後出し禁止の呼びかけ、再度の回収防止に協力求め活動。 燃費の悪い車両に関しては、用途に応じて乗り方、使い方の工夫をする。
	車両燃費(月平均値)	車両(km/ℓ)	4.24	3.50	-17% 低下	
	車両燃費(1台平均値)	車両(km/ℓ)	4.09	3.05	-25% 低下	
	重機年間総使用時間	重機(h)	1767	1802	2.0% 向上	
	＜評価＞ エリア内の新築増加による回収件数の増加。 臨時回収と規定外回収の増加。					
4	総電力の使用量(kwh)		2023年	2024年	前年比実績	＜その他の改善策＞ ベラー投入時、均等に入れる。(負荷防止の為) ベラーの空運転をなくす、こまめな消灯をする。 定期的な清掃により作動効率を上げる。 知識および目標の周知 事務所内休憩時間の節電・エアコン温度調整は室外温度差3度
	電動重機 年間総使用時間	重機(h)	8	5	-37.5% 向上	
	＜評価＞					
5	水の使用量(m³)		2023年	2024年	前年比実績	＜その他の改善策＞ クーリングタワーの清掃を定期的にする。 節水呼びかけ、漏水チェックを徹底する。
			270	266	-1% 向上	
		＜評価＞				
6	資源リサイクル化率(%)		2023年	2024年	前年比実績	＜その他の改善策＞ 3R リデュース:ごみの発生抑制、リユース:再使用、 紙資源の回収を増やす。 廃棄物の扱い高を増やすと同時に手選別重視で資源化率を増やす。 従業員の教育・啓発を行う 取引先、引き取り先への分別啓発を行う。
		%表示	100	100	0.00	
		＜評価＞ 選別精度の向上が達成の要因であるとともに 個々の選別の精度が向上した。				

2024 年 環境法規制等管理一覧表(1)

				代表取締役	環境管理責任者
				渡辺 いつ子	若林 茂治
法令等の名称	主な法規制要求事項	適用設備等	責任者	具体的活動	(チェック日/担当者)
下水道及び東村山市下水道条例	当社は特定施設もなく、排水量も50m ³ /日以下であるため、有害物質や生活排水項目の濃度規制対象外。ただし、東村山市下水道条例において、有害物質や酸アルカリ、高温水といったものを流さないように規定(12条の12)。	特定施設なし	渡辺社長	届出必要なし	2024年12月30日 若林
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	業の許可は「産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処理業(圧縮・梱包)」。収集運搬処理委託業者との契約(12条の5)。マニフェストの運用マニフェスト5年間保管。マニフェストが規定期日内に未回収の場合、運搬・処分状況を把握の上報告する(12条の3)。産廃置き場に囲いを設ける。プレハブの置き場内に置くことで対応。飛散・流出防止義務(12条の2)。廃棄物の減量、リサイクルの推進。産業廃棄物の収集・運搬車両表示板を車両の両側に表示(12条の1)。	産廃廃棄物の排出 ・廃プラスチック ・木くず・陶磁器 ・ガラス・紙くず 中間処理施設 ・保管場所 ・プレス機 事務所2階休憩室 ・蛍光灯	渡辺社長	業の許可は「産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処理業(圧縮・梱包)」。排出先株式会社遠藤商会他のマニフェストコピー保管。産業廃棄物管理票交付状況報告書を毎年6月30日までに東京都に届け出します(収集運搬および処理業)。また、自社が産業廃棄物の排出事業者としてマニフェストを発行した場合には、報告を実施します(施工規制8条)。(実施期限3月31日および10月31日の年2回)	2024年12月30日 渡辺社長 ●管理票交付状況報告 実績なしのため報告なし ●処理状況報告書提出 2024年 4月23日 実施 2024年 10月22日 実施 ●許可証掲示の確認
東村山市廃棄物の処理及び再利用促進に関する条例	市指定の可燃ごみ袋と不燃ごみ袋に分類する。事業系 一般廃棄物の分類は市のルールに従う(10、11条)。		若林	市のルール通知、組合からの通知等の都度のチェック。変更の場合は社内周知徹底。	都度周知告知 若林
騒音規制法(4条)	規制値(第三種区域、準工業地域 朝55db、昼60db、夕方55db、夜間50db以下	缶工場	渡辺社長		都度周知告知 若林
振動規制法(4条)	対象機器: テレビ/冷蔵庫/洗濯機/エアコン。対象関係者、製造業者、小売業者、消費等の引き取り、引渡し業務。再商品化等実施業務管理表の交付(43条)		渡辺社長	都度	都度周知告知 若林
家電リサイクル法					
自動車リサイクル法	購入時のリサイクル料金支払い。		渡辺社長	自動車廃棄時のリサイクル料金の支払いの有無のチェック。	2024年12月30日 若林 支払い ☐ 有 ☐ 無 2024 年度自動車廃棄なし
ポリ塩化ビフェニール廃棄物の適正処理の推進に関する特別措置法	PCB試験検査結果(2022.9.9)にてPCB廃棄物該当せず。ケーブル・トランス搬出工事(2023.2.18)。	変電設備	渡辺社長	日本テクノ(株)による定期検査(隔月実施)済。別紙「巡視点検報告書」(自家用電気設備)保管。	2024年12月30日 若林 1/4 3/1 5/2 7/2 9/2 11/1
労働安全基準法	フォークリフトの点検		若林	自主点検(1年、1ヶ月、作業前点検)	2024年12月30日 若林 毎日実施

「法規制要求事項」遵守のため「具体的活動」により法遵守のチェック結果を記入

2024 年 環境法規制等管理一覧表(2)

					代表取締役社長	環境管理責任者
					渡辺 いつ子	若林 茂治
法令等の名称	主な法規制要求事項	適用設備等	責任者	具体的活動 目標	チェック(月日/担当者)	
自動車NOX・PM法	NOX対策地域、PM対策地域の特定自動車及び特定事業者は、排出基準の規制/計画と定期報告義務がある。(34条)	現在対象の社有車なし	渡辺社長	車両保有数の増減時および車検時に再度確認する。重機導入の際は、排ガス規制クリアしていること、燃費開発された型式にする。	2024年 12月30日 渡辺社長	
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例(東京都環境確保条例)	1. アイドリングストップ アイドリングストップの実施駐車場は20台以下のため、アイドリングストップの周知の項目は該当しない。(64条) 2. 化学物質の届出(108条) 該当物質なし	自動車 重機	若林	●アイドリングストップを実施するため、回収員の教育および周知を徹底させ ●2人体制による回収を基本とし、アイドリングストップ実施と監視をする。	2024年 12月30日 若林	
資源有効利用促進法	再生資源及び再生部品の利用促進(4条)	特定施設無し	経理事務	ファイル、古封筒、コピー用紙、裏紙などの再利用	2024年 12月30日 若林	
グリーン購入法	環境に配慮した製品の利用促進(5条)	特定施設無し	経理事務	環境物品等のエコ製品の積極的な選択を行う	2024年 12月30日 若林	
新エネルギー利用促進法	新エネルギーの利用促進(4条)	特定施設無し	渡辺社長	工場の屋根を利用した太陽光パネルによる太陽光自家発電の可能性を検討中	2024年 12月30日 若林	
フロン排出抑制法	1. 改正・フロン排出抑制法(旧:フロン回収破壊法、2015年4月1日施行)の新要求事項について、4半期に1回以上、「簡易点検」を実施すること。 2. 廃棄する際に「回収依頼書」又は「委託確認書」を発行し、30日以内に「引取証明書」を入手する。それぞれ3年間保管する。	業務用エアコン 圧縮機定格出力1.76kw (事務所1階に設置)	若林	簡易点検 年4回実施する 実施日 点検第1回 3月15日 点検第2回 6月14日 点検第3回 9月13日 点検第4回 12月27日 ※簡易点検表は設備廃棄後3年間保存する。	2024年 12月30日 若林	
オフロード法 特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律	重機の排ガス規制【2014年版】 適合表示のあるステッカーの貼られた車両の購入および使用すること。	構内使用重機	渡辺社長	・定期検査(1年以内ごとに1回) ・日常点検:日報に記録 ・定期点検の教育・励行	2024年 12月30日 若林	

※環境関連法規の違反、訴訟の有無 (年度末に明記)
環境関連法規への違反や訴訟は過去17年間ありません。あわせて行政機関、利害関係者からの苦情もありません。

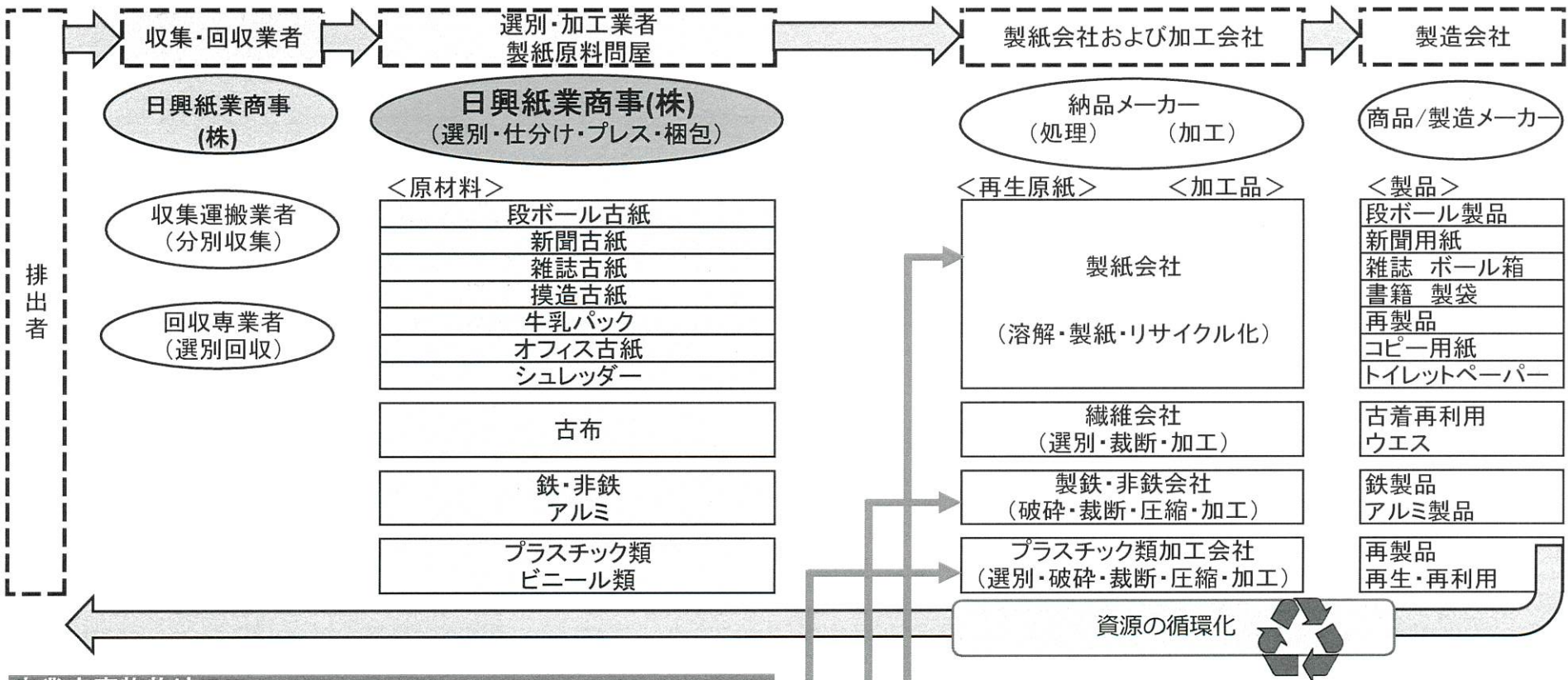
簡易点検表　－業務用空調機器－

＜新冷媒シリーズ　ダイキンエアコン「スカイエア」　FAP-BA＞				※○印でチェック			
点　検　事　項		推奨 点検頻度 (年間4回)	年	2024	2024	2024	2024
			月	3月	6月	9月	12月
			日	15日	14日	13日	27日
実施担当者		若林　茂治		若林　茂治		若林　茂治	
1	室外機の異常振動・異常運転状況	正常 異常		正常 異常		正常 異常	
2	室外機及び周辺の油のにじみ	有 無		有 無		有 無	
3	室外機のキズの有無、熱交換器の腐食、さび、キズなど	有 無		有 無		有 無	
4	室内機内の熱交換器の霜付きの有無	有 無		有 無		有 無	
5	気付き事項	特になし		少し冷房に問題が出来てきたので、事務所と休憩室のエアコンを交換した。		特になし	

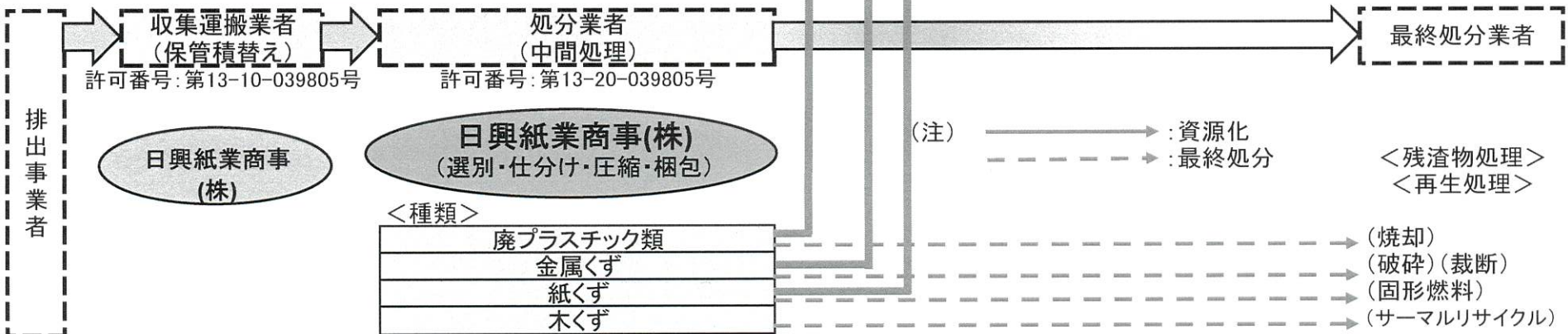
日興紙業商事株式会社 資源物・廃棄物処理工程図

2016.3.27

古紙・再生資源 物流フロー



産業廃棄物物流フロー



代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果

2024年は、世界情勢が影響する我が国の経済下にあつては、物価高騰による経費負担増など依然、予断を許さない経営課題が存在している。しかしながら事業内容を見直してみると、回収エリア内の世帯数が増加したため臨時回収が増えたとはいえ、効率の良い業務の徹底によって燃料削減および燃費向上数値の維持を達成し、CO2排出抑制に最善を尽くすことができた。本年は全国的に火災の多い年であったが、このような事例を見ても、不慮の自然災害や予測の難しい状況に直面することも見据え、今後もBCP(事業継続計画)のさらに社内進化を遂げていきたい。

環境経営活動の推進には、継続して数値目標の達成状況を社内で共有することが大事であるという認識のもとに、定期的多角的な数値集計が実践され、結果分析は環境経営課題のチェックに役立った。またリサイクル循環型事業の現場最前線で、その流れを止めることなく実践するというエッセンシャルワーカーとしてのミッションの重要性を自覚し、社員一同、業務の一層の効率化および2017年版ガイドラインに沿った環境負荷軽減の推進につなげていく所存である。

同時にリサイクルシステムの維持と採算性をクリアすることの両立を可能とするためには、自社内における作業効率化の努力はもとより、資源物の需要と供給のバランスを取るためにも、経済動向を注視しつつ取引先の単価協力が必要となる。

引き続き、取引先および引き取り先、新規取引先、回収先の地域住民等、リサイクルに関わるすべての団体、組織とのコミュニケーションを通して、資源の大切さ、再生化の重要性にご理解いただく努力を継続し、共生の理念を共有してまいりたい。

令和7年1月24日

東京都東村山市廻田町1丁目2番地1
日興紙業商事株式会社
代表取締役 渡辺いつ子